



福井敬一常設展 Vol.34



# 80歳の 画家



9:00～17:00 入場無料

須坂駅前 シルキービル

2階アートギャラリー

2014年

9月11日(木)

2015年

5月10日(日)

2014年12月29日(月)～2015年1月3日(土) 休館

◆主催/問合せ：須坂市生涯学習スポーツ課  
須坂市大字須坂 1528 番地の1

TEL:026-248-9027 FAX:026-248-8825

E-MAIL:shogaigakushusports@city.suzaka.nagano.jp

## —80歳の画家—

今回は福井敬一が80歳を迎えた、平成3(1991)年に制作された作品をご紹介します。

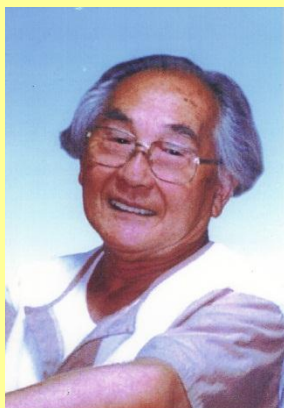
この年、福井は須坂市文化会館メセナホールの緞帳「破風高原」の下絵も手がけており、20歳で画家を志してから60年目の年でもあります。

長年制作を続けてきた福井は、80歳という年齢になっても絵に対する情熱が消えることはありませんでした。福井が、「私は満80才になった。自分では何てことはない。これが80なんて大きな数字なのか。ところが、世間では大騒ぎ。」と書き残しているように、年齢を感じさせない力強い作風は、人々に驚きを与えました。

福井が到達した迫力のある構図と、重厚な色彩をご覧ください。



トッコ (1991年)



ふくい けいいち  
福井 敬一

### 福井敬一と常設展について

明治44(1911)年台湾生まれ。帝国美術学校卒業後、油彩画を中心に制作活動を行い、国内美術界をリードしてきました。昭和28(1953)年「上高井美術同好会」の講師となり、以来37年間にわたり毎年須坂市を訪れ、地域の美術指導にあたりました。須坂市文化会館メセナホールの緞帳「破風高原」の下絵を制作したことで知られています。平成15(2003)年逝去。その前年、自身の希望により600余点の作品を須坂市に寄贈しました。これらの作品を市民の芸術文化振興に活用するため、テーマを設けて展示替えを行っています。